

# こんにちは婦人会「さくら」です

寒中お伺い申しあげます。新しい年が明けて、すでに小正月も過ぎて大寒も過ぎました。厳しい寒さが続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。さて皆様、新年の行事といえば「初詣」ですが、もう行かれましたか？編集人の新年の行事は、毎年テレビで箱根駅伝を観戦することでしたが、今年はちょっと違いました。2日の日はテレビでしたが、3日は、なんと大手町まで応援に行ってしまいました。各大学の応援合戦の中、応援してきました。応援する大学は決まっているのに、走ってくる選手みんなに旗を振り応援しました。ガンバレ！その後、お決まりの明治神宮へ・・・長～い行列に疲れ切ってしまいました。

## ～婦人会・暮らしのエッセンス～

安曇野育ちの編集人は、この季節になると思い出すものがあるのです。厳しい冬の寒さが生んだ郷土食「凍り餅」なるものです。冬のあいだ水をかけた餅を紙で包み家の軒先に吊るしてカラカラになるまで乾燥させたもので、もともとは保存食として作られたものです。お正月明けから、春のお彼岸近くまで吊るしたようです。ところで、このカラカラのお餅の食べ方です。熱いお湯で戻すだけなのですが、本来の餅の形に戻るわけではなくドロっとした感じになります。ちなみに味はお餅の味そのものですが、砂糖や蜂蜜で甘さを加えると美味しいのです。



寒さもこれからですご自愛くださいませ。  
今年もよろしく願い申しあげます。



婦人会「さくら」  
平成27年1月20日  
第156号